

学校から地域の環境活動を 市民と企業のパートナーシップで

ecok
東京

ecok東京は企業・行政・市民とのパートナーシップにもとづいて、環境学習を支援している新しいネットワークです。ecok東京は、地域からの環境活動を推進するために、1998年から学校を核としながら次世代を担う子どもたちの環境意識を育むために授業支援をしています。現在7つの企業が参加しています。

授業支援は下の図のとおり3つの方法で実施しています。いずれの場合も無償です。事前カウンセリングと打ち合わせを重視し、授業の企画、実施からその後のフォローまで学校のニーズに即した支援を行っています。

支援内容に定番のプログラムはありません。先生との打ち合わせにより、学習の目標、児童・生徒の現状、地域や学校の特性に合わせて先生と一緒に作り上げることになっています。このネットワークを立ち上げ、その事務局を担っているNPO法人環境学習研究会では、「体験的な学習には、学校関係者以外にも多くの人々の協力が必要です。環境を学習のテーマにとりあげる学校が増えるなか、企業・行政・市民の協働による支援が求められています」と話しています。

授業支援 3つの方法

■情報

- 環境ネットワークマガジン「ecok東京」を通して事例や学習指導案の作成に役立つ情報を発信
- 授業内容、方法、学習アイテムに関する問い合わせや相談への対応
- 企業や行政からの情報や教材の提供

■コーディネート

- ゲストティーチャーの派遣や施設見学などの要請に対する、企業・行政・市民団体などとのコーディネート

■サポート

- 学習指導案作成の相談、実施方法のアドバイス、授業実施のための人的支援

学校授業支援の実績 平成14(2002)年度

- 支援学校数:103校 ○対象児童・生徒数:13,252人
- 単位時間:592時間 ○企業による支援:35校
- ボランティア数:1,449人

支援内容の事例



多摩川中流域の学校の子どもたちが上流で総合学習の授業

【自然系】

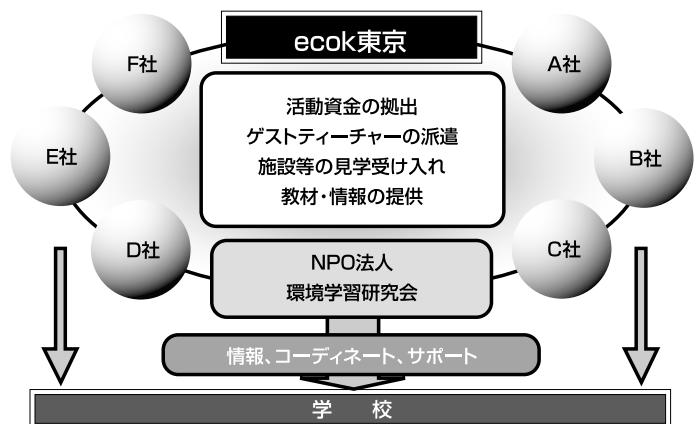
- 自然体験(自然に親しむ、生き物の見つけ方、観察、地域の自然調べ、移動教室)
- 学校ビオトープ(生態系の学習、協働を学ぶ、地域とのつながりを考える)
- 自然マップ作り(地域の自然を知る、今と昔の自然の違い)
- 地域の川探検(生き物、水環境、上流と下流の比較、川をめぐる歴史)



総合学習の取組を発信する「エコプロダクツ2002」での取組

【都市系】

- 身近な環境調べ(空気、水、ごみ、酸性雨、生き物、植物)
- ごみ(学校のごみ、地域のごみ、家庭のごみ、堆肥づくり、ごみ処理)
- 水(水質調べ、上・下水道、地域の川)
- リサイクル(ペットボトルのリサイクル、身近なエコ製品、工場見学、技術)
- エネルギー(待機電力調べ、省エネ、新エネルギー)
- 空気(CO₂、空気の汚れ、酸性雨)



- ホームページアドレス
<http://www.ecok.jp/index.html>
- ecok東京や授業支援に関するお問い合わせ先
kankyo@ecok.jp 電話03-3547-1650

アクセス ポイント

このコーナーでは、学校支援や青少年の奉仕・体験活動について、アクセスできる団体や機関等を紹介しています。なお、ホームページ等をご覧になってプログラム等を利用する際には、必ず直接、当該団体・機関等と連絡をお取りいただき、相談されるようお願いいたします。

▶ 日本博物館協会の学習支援検索

日本博物館協会は、青少年及び成人による生涯学習の進展を図るため、博物館振興のための調査・研究開発並びに指導・援助を行っています。同協会のホームページでは、平成13(2001)年3月から、「学習支援検索」というコンテンツを公開しています。ここでは、全国の博物館による学習支援のための活動や資料などを検索できるようになっています。「東京」で検索すると都内で学習支援を行っている博物館139件が検索できます。また「活動・資料ごとの検索」では、教職員を対象にした「研修講座」、「出前授業」、「教材貸出」、「体験キット」などの項目ごとに実施している博物館を検索できるようになっています。

【ホームページアドレス】<http://www.j-muse.or.jp/>